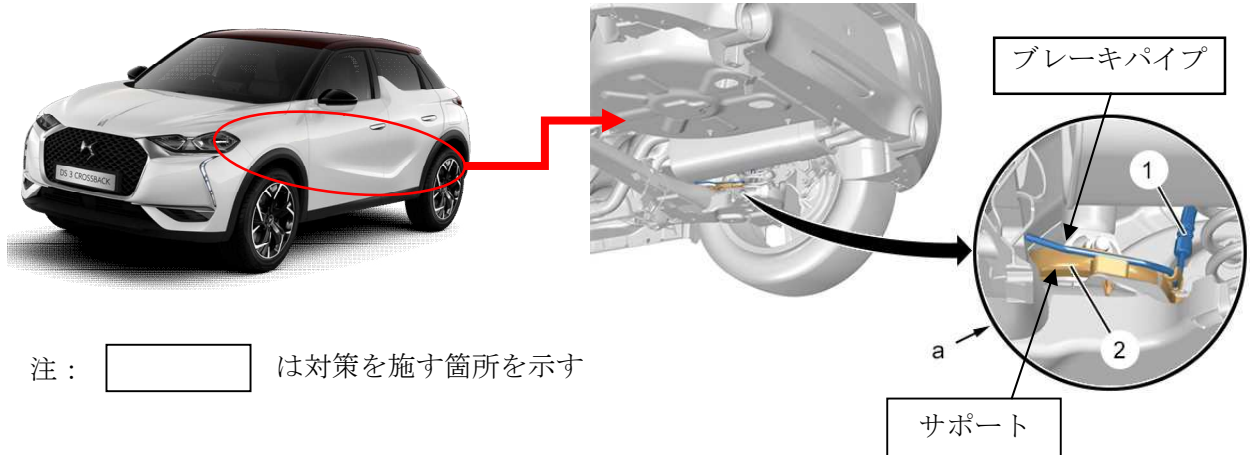


改善箇所説明図



不具合の内容

リアのブレーキパイプにおいて、組み付け方法が不適切なため、ブレーキパイプがサポートに適切に組み付けられていないものがある。そのため、走行時の振動等によりブレーキパイプに過大な負荷がかかり、ブレーキパイプが破損しブレーキフルードが漏れて、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、リアのブレーキパイプの組み付け状態を点検し、適切に組み付けられていない場合はブレーキパイプを新品に交換し、正規の位置に組み付ける。また、全車両、結束バンドでブレーキパイプをサポートに固定する。

識別

運転席側ドアロックストライカーの下側の固定ボルトに白ペイントを塗る。